※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１２

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	未来へつなぐ家庭総合３６５　（教育図書株式会社）						
副教材等	未来へつなぐ家庭総合３６５　マスターノート　（教育図書株式会社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●家庭生活に関心を持ち、生活の課題をみつけ、解決するよう、積極的に取り組みましょう。
- 学んだことを自分の生活と結びつけ、よりよい生活をめざします。
- 成年の年齢が引き下げられ、より主体的に家庭生活をつくろうとする態度が求められるようになりました。そのために、実習や演習などを通して生活に関する様々な現象について理解を深め、知識を身につけます。
- 友だちの考えを知り、多様な考え方を学ぶことによって自分の考えを持ちましょう。
- 実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解と技術を身につけます。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。
(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。
(3)様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	A編　第1章　生涯の生活設計 第2章　青年期の自立と家族・家庭	第1章 1　人は一生発達する 2　これからの人生に何が起こるか 3　人生の課題を解決しよう 第2章 1　自立への一歩を踏み出そう 2　家族・家庭って何？ 3　将来の自分と家庭を想像する	a:各ライフステージの特徴と課題を理解している。 家庭生活を支える職業労働と家事労働の特徴を理解している。 b:これから起こる人生のライフイベントを想定し、目標を立てることができる。 男女共同参画社会について、実現のためにできることを自分なりに考え、表現している。 c:人生の目標を立て、意思決定について考えようとしている。 家族・家庭とは何かを様々な観点から考えようとしている。	ノート 定期考査	ノート 発表 定期考査	ノート
7月・9月	D編	ホームプロジェクトと家庭クラブ活動	a:　ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。 b:　自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:　様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	ノート ワークシート 定期考査	ノート ワークシート 発表	レポート

※令和４年度以降入学生用

2	第3章　子どもの生活と保育	1　子どもはどう生まれ育つ？ 2　子どもとどうかかわろう？ 3　これからの子育てとは？	a:子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義について理解している。 　現代の子どもを取り巻く環境の問題について理解している。 b:子どもにとっての良い環境について考え、自分なりに表現している。 　育児休業や育児時間についての統計資料を比較し、問題点を考察している。 c:自分たちがこれから子どもを育てる世代になることを実感し、考えようとしている。 　体験活動に積極的に取り組もうとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート プリント ワークシート
	第4章　高齢期の生活と福祉	1　高齢期ってどういう時期？ 2　高齢化する日本を生きる	a:高齢期の心身の特徴を知り、高齢期に多い事故や疾患について理解している。 　我が国の高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解している。 　社会保障制度のしくみを理解している。 b:高齢者の生活や、社会的な支援のあり方について考察している c:人生の一時期として高齢期をとらえ、家族や自分の将来像として考えようとしている。 　身の周りのバリアフリーに関心を持ち、改善点を考えようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート レポート
	第5章共生社会と福祉	1　共生って何だろう？ 2　ノーマライゼーションとは	a:共生社会の重要性について理解している。 　自助・公助・共助について理解している。 b:共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考えている。 c:共生社会の実現のために、自分ができることを考えようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート プリント ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3	C編　第1章　生活における経済の計画 第2章　消費生活と意思決定	第1章 1　将来に向けて家計を考えよう 2　将来の経済計画を立ててみよう 第2章 1　何をどうやって買う？ 2　かしこい消費者になろう	a:家計のしくみや、家計が社会と密接にかかわっていることを理解している。 　１８歳で大人になるという自覚を持ち、大人と未成年の違いについて理解している。 　消費者トラブルと消費者保護のしくみについて理解している。 b:金融商品の特徴を理解し、将来の財産管理について考えている。 　資料をもとに、クーリング・オフの手続きの書類を記入することができる。 c:１８歳で大人になるという自覚を持ち、消費者問題について自分のこととして考えようとしている。	ノート プリント 定期考査	ノート ワークシート 定期考査	ノート プリント ワークシート
	第3章　持続可能なライフスタイルと環境	1　未来の地球環境は大丈夫？ 2　私たちにできることは何だろう？	a:環境問題についての基本的な内容を理解している 　持続可能な社会を実現するための社会の取り組みについて理解している。 b:自分の消費行動が社会に与える影響について考え、持続可能な社会の実現のためにどう行動したらよいか自分なりに考えをまとめている。 c:持続可能の社会の実現のためにできることを積極的に考えようとしている。	ノート プリント 定期考査	ノート ワークシート 定期考査	ノート プリント ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度